

2025 年 5 月 21 日

報道関係者 各位

群馬大学医学部附属病院に脊椎脊髄センターが新設されます

～脊椎脊髄疾患治療の新たな診療体制構築～

群馬大学医学部附属病院（群馬県前橋市）は、脊椎脊髄疾患に対する新たな診療体制として、整形外科と脳神経外科の合同による「**脊椎脊髄センター**」を新設します。



1. 本件のポイント

- 高齢化社会に伴い、脊椎脊髄疾患患者は増加傾向にあり、手術件数や対応疾患も増加傾向にあります。また、高度かつ先進的な医療を提供する大学病院として、難治性脊椎脊髄疾患に対応することが求められており、高度診療拠点として機能することが求められています。
- より幅広い難治性脊椎脊髄疾患に対して治療を行っていくにあたり、整形外科との脳神経外科の連携を強化し、各診療科が得意とする分野をいかせるよう、群馬大学医学部附属病院脊椎脊髄センターを新設します。

2. 本件の概要

高齢化社会の急速な進展に伴い、全国的に脊椎脊髄疾患患者数は増加の一途をたどっています。変形性脊椎症や椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、脊髄腫瘍など、様々な脊椎脊髄疾

患は多岐にわたり、手術件数も 20 年前の約 3 倍、10 年前の約 2 倍と顕著に増加しています。また、対応すべき疾患の種類も多様化・複雑化しており、高度な専門知識と技術が求められています。大学病院として、特に難治性脊髄疾患に対する高度専門医療を提供する診療拠点としての機能強化が社会的に求められています。

連携体制の強化

現在、当院では整形外科と脳神経外科にそれぞれ脊椎脊髄外科の専門医が在籍し、各診療科の特性と強みを活かした診療を展開しています。両科の専門医がそれぞれの専門領域で高度な診療を行うことで、幅広い症例に対して適切な治療を提供できる体制を構築しています。

それに加え今後は、整形外科と脳神経外科の合同カンファレンスを実施し、症例の検討や診療方針の共有を行います。これにより、各診療科が得意とする専門分野の知識や技術を最大限に活かし、より幅広い難治性脊椎脊髄疾患に対する包括的かつ最適な診療アプローチが可能となると考えています。

教育や研究活動の推進

新専門医制度の導入に伴い、2023 年 4 月より日本専門医機構認定の脊椎脊髄外科専門医カリキュラムが整形外科と脳神経外科との合同で開始されました。このカリキュラムでは、脊椎脊髄外科医として必要な基本的知識と技術を体系的に習得できるよう設計されています。専門医の育成・維持のために、群馬大学としての症例レジストリの統合を進め、より質の高い研修環境の整備を進めています。

また、若手医師への教育プログラムを充実させ、次世代の脊椎脊髄外科専門医の育成に力を入れていきます。さらに、臨床現場で得られた知見をもとに、脊椎脊髄疾患の病態解明や新たな治療法の開発を目指した研究活動も積極的に推進していきます。

今後の展望

質の高い安全な医療の実現にむけ、アドバイザリーボードを設置します。治療成績や発生した合併症について、第三者による定期的な評価を受けるものです。このような外部委員による医療安全体制をもつセンターは革新的な試みとなります。

新たに完成しましたハイブリッド手術室やナビゲーションシステムなどの先進的な医療機器も使用し、より安全で効果的な治療の提供を目指しています。また、地域医療機関とのネットワークを強化し、シームレスな医療連携体制の構築も進めていきます。

高度な専門性を有する脊椎脊髄センターとして、難治性疾患に対する先進的治療の提供と、エビデンスに基づいた適切な医療の実践を通じて、患者さんの QOL 向上に貢献していきたいと思っています。

【本件に関するお問合せ先】

群馬大学医学部附属病院 整形外科 講師 三枝 徳栄（みえだ とくえ）

【取材に関するお問合せ先】

群馬大学昭和地区事務部総務課広報・保健学庶務係

TEL : 027-220-7895 FAX : 027-220-7720

E-MAIL : m-koho@ml.gunma-u.ac.jp